

2011 年度 (平成 23 年度) 学校評価自己評価表

最終更新日	2011 (平成23) 年 4月 1日
-------	---------------------

校番 22	福山市立 誠之中 学校
-------	-------------

1 学校教育目標

豊かな心と確かな実践力・体力を持ち、たくましく21世紀を生き抜く生徒を育てる

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命 (ミッション)

保護者や地域から信頼され、校区の小中学校を卒業する多くの生徒が、夢と目標を持って入学したいという学校づくり

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像 (ビジョン)

目指す学校像
「面倒見のよい」学校
 あらゆる場面で「誠之中三かけ」(氣にかけ、声かけ、手をかける)を推進する学校
目指す生徒像
夢を持ち、目標に向かって元気で成長する生徒

3 自校の現状分析

○学校内外での生徒指導上の諸課題を解決し、安全で安心できる学校づくりを目指し、教職員が一丸となって取り組みを進めてきた。また、年度途中からではあったが、連合町内会や公民館・交番・青補協などの健全育成団体や校区の小中学校・各PTA等で組織した「誠之中校区子どもの健全育成推進会議」での取り組みも行うことが出来た。

その結果、校内においては落ち着きを取り戻しつつあり、生徒会を中心に落ち着いた学校生活を目標そうという風土も生まれつつある。

しかし、不登校や長欠生徒の問題や校則が守れない生徒の存在等、課題が残っている。

また、校外や地域での生活においても公園にたむろしたり、深夜徘徊したり等の課題が残されており、家庭や地域の協力をあおがなければならない内容もある。

○基礎基本の定着を目指した取り組み、分かる授業づくりのための校内研修などを計画的に行ってきたが、県基礎基本定着状況調査において、県平均よりもかなり低い状況にある。また、家庭学習の時間も不十分な実態がある。

家庭学習を含めて、やれば出来る、取組めば取組んだだけ結果が出るんだという経験を繰り返させる事で自信と学習習慣を付けさせる必要がある。

4 研究主題

(1) 研究主題

セルフエスティーム(健全な自尊心=個性の感覚・有能性の感覚・絆の感覚)の育成
 —— 全ての教育活動をライフスキル教育に集約させて ——

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
県	不登校対策実践指定校	2011年4月1日 ～2012年3月31日
市	教育研究支援事業 (ライフスキル教育のキャリア教育化)	2011年4月1日 ～2014年3月31日

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
・不登校生徒・問題行動生徒の減少	本校生徒が安全で安心して通学できる学校とするために、この問題解決の取組を積極的に行う。
・生きる力の育成 「ライフスキル教育」のキャリア教育化の推進	本校の教育活動のすべての場面において、ライフスキル教育の視点(セルフエスティームを高める活動)を導入し、個性や有能性、絆の感覚を高めることで、意欲的に生きる力を身に付けさせる。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取り組み ◇成果と取り組み に着目)	() 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期) 経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確かな学力	3	基礎・基本の定着と確かな指導力	★	継続	授業研究の実施 〈授業研究部〉		▽教科の基礎基本を明確にし、定着状況に視点を置いた授業研究を3回以上行う。		
				新規	英語定着ドリルの導入 〈授業研究部〉 〈教科部〉		▽英語科において家庭学習と連動した朝ドリルを導入し、基礎基本の確実な定着を図る。 (認定テスト1次通過率75%以上)		
豊かな心	1	豊かな社会性の育成	★	継続	ライフスキル教育のキャリア教育化 〈ライフスキル教育部〉 〈進路健康安全部〉		◇ライフスキル教育の授業の計画的実施 (授業実施率100%)		
				新規	ボランティア活動への積極的参加 〈生徒指導部〉 (教務部)		▽生徒会主催のみならず、地域行事等でのボランティアへも参加する。 〈年間2回以上の参加生徒を60%以上〉		
				継続	不登校対策の充実。 〈不登校対策部〉		▽不登校・長欠生徒を減少させるため教育相談会で生徒の状況の交流と取り組みの方向性の確認を行う。 〈不登校生徒を20名以下〉		
健やかな体	3	健康と体力の向上	★	継続	部活動の活性化 〈生徒指導部〉 (全職員)		▽毎週月曜日を部活動指導日とし、部活動の指導を行う。(生徒の出席率60%以上)		
				見直し	生活習慣の定着 〈生徒指導部〉		▽生徒会と連携して挨拶のできる学校にする。 (進んで挨拶をしたとする生徒75%以上)		

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	() 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期) 経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
力 量 あ る 教 職 員	1	プロとしての教師力の向上と研鑽	★	一部 見直し	ライフスキル教育のキャリア教育化のための研修の実施 〈ライフスキル教育部〉		◇ライフスキル教育推進のための校内研修を年間3回実施する。 ◇ライフスキル教育を中心とした公開授業研究会を6月と1月に実施。 ▽誠之中校区ライフスキル教育推進協議会の研修会や校区小学校の研修会に必ず1回以上は参加。		
				新規	各教育内容についての校内研修の実施と公開 〈教務部〉 〈教育研究局〉		▽初任者研修を全職員で担当し、充実を図る。 (初任者の授業や指導、服務等について指導した職員100%)		
市 民 か ら 信 頼 さ れ る 学 校	3	開かれた学校づくり		見直し	地域及び保護者と連携して教育活動を推進 (総務局)		▽地域や校区内の小学校などの行事に職員・生徒とともに積極的に参加する。 (学校として年間3回以上) ▽スクールサポートボランティアの登録者を増やし、様々な教育活動を連携して実施。 (登録者数20名以上)		
				継続	法令・規則の遵守 (総務局) (教務部)		▽不祥事防止委員会を定期的開催すると共に、教育公務員としての自覚を高め、自覚ある日常生活を送らせるための校内研修を計画的に実施する。 (委員会開催・校内研修 毎月実施)		